

あの日から1年…

平成31年としてスタートした本年も半年が経過し、5月からは新たな「令和」の時代が幕開けしました。時が移り行く早さにただただ驚くばかりです。「平成」の時代を振り返ると、雲仙普賢岳の大火砕流や阪神淡路大震災、また東日本大震災や熊本地震など、全国各地で甚大な自然災害が多発した時代でした。その中でも、昨年の平成30年7月豪雨は、私たちに忘れて忘れない、決して忘れない、ならない経験となりました。

あの日から1年…。最も被害が大きかった吉田地区復旧状況は、国、県はもちろん、測量や設計、建設など工事関係の皆さんからの力添えをいただいています。圧倒的な工事箇所数の前に、その進捗状況は思いのほか進んでいないことも事実です。本市としては、制度の工夫も含めて、引き続きあらゆる努力を重ね、復興に向けて一歩一歩着実に歩んでいく覚悟を決めています。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。



出水期を迎え、これから秋にかけて梅雨、台風などがもたらすかもしれない風水害や土砂災害に対して、まずは市民の命を確実に守ることが第一の責務であると確信しています。避難情報の新たな発令基準や避難方法などについては、広報うわじま6月号に折り込みした「出水期の備え」風水害・土砂災害に備えよう！」保存版を参考に、早めの避難を心がけてください。

なお、この保存版は市役所や各支所、公民館で配布しています。



■市民と市長のふれあいトーク

【とき】7月26日(金) 午前10時～午後3時(1回30分程度)

【ところ】市役所

【申込・問合先】7月19日(金)までに
市長公室 ☎49-7106

ヒョウモンダコに注意

夏場は産卵期を迎えるタコの活動が活発になる季節です。食べるとおいしいタコですが、「ヒョウモンダコ」という毒をもったタコが宇和海でも確認されています。

蒋淵地区で長年タコ漁を続ける濱崎さんに聞くと、年を追うごとにヒョウモンダコを見かけることが増えているそうです。海岸付近など私たちの身近なところでも確認されるため、海辺で遊ぶときは子どもたちにも注意が必要です。



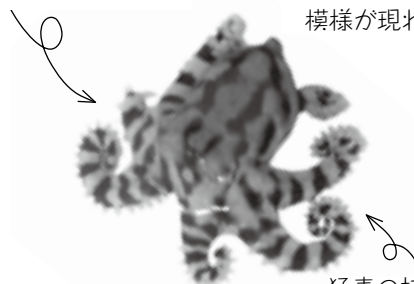
咬まれると呼吸困難や心肺停止を引き起こし、命に関わる場合もあります。見かけたときは絶対に触らないよう注意してください。



危険！ヒョウモンダコ

大きさは10cm程度

※危険を感じると変色し、体中に青いリング状の模様が現れます。



猛毒の持ち主。咬まれると命に関わる危険も

近年の目撃情報など、詳しくは、県ホームページにも掲載されています。

